

すいたの年輪ネット・各会議体の相関図

すいたの年輪ネット（H28～）

これまでの主な重点目標

- 高齢者の社会参加・生活支援の充実（H28～）
- 地域での高齢者生活支援の取組推進（R2～）
- 多世代交流、ICTサポート等（R3～）
- マンション住民の交流強化（R5～）



- ・居場所、取組み内容の工夫
- ・多世代との交流
- ・住民以外（企業、福祉事業所など）の参画
- ・活動の担い手＝団体役員（委員）にこだわらない
- ・地域包括支援センターの周知、見せ方
- ・みまもりあいアプリの活用
- ・認知症の理解を深める、家族負担の軽減
- ・特殊詐欺被害の防止

地域ケア会議（H13～）

高齢者個人への支援充実とそれを支える社会基盤の整備を同時に進め、地域包括ケアシステム実現に向けて開催。

地域検討会（R2～）

多様な住民・団体・専門職等が小学校区単位等で地域課題、高齢者の生活課題を検討し、必要な活動等を創出。

すいたの年輪ネット作業部会（R1～）

すいたの年輪ネット委員で企画・運営を行う。これまで高齢者生活支援サポートリスト、市民フォーラム、マンション交流会等を企画。

市民主体型DX推進実行委員会（R7～）

NEW

生活支援コーディネーター
（呼びかけ人）

アプリ開発団体
（事務局）

大和大学
（公共政策チーム）

大阪大学
（山川ゼミ）

関西大学
（吉岡ゼミ）

吹田市
高齢福祉室

認知症地域
支援推進員

山田地域包括
支援センター

旭通商店街

認知症カフェ
交流会

済生会千里病院

ラコルタ
（市民公益活動センター）

NPO法人
COCONI

吹田ホスピス
市民塾

日本総合研究所

御用聞き
（チキスタイル）

大阪よどがわ
市民生協

吹田市国際
交流協会

みまもりあい♡アプリを活用して認知症当事者や家族の孤立・孤独の防止、見守り支援者増を図る。